

会 議 概 要 報 告

1. 会議の名称	令和6年度第2回潟上市食育推進会議
2. 開催日時・場所	令和6年11月26日（火） 午後2時00分～午後3時30分
3. 委員等の人数	15人
4. 出席委員等の人数	10人
5. 内容	(1) 令和6年度食育イベントについて（報告） (2) 食育関係事業について ① 取組み状況の報告 ② 今後の取組みについて
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	資料1（1）令和6年度食育イベントについて（アンケート回答結果） 資料2（2）食育関係事業について
8. 会議の概要	(1) 令和6年度食育イベントについて ○若い世代が、食に触れる機会が持てて良かった。 ○小学生向けの体験型事業もあると良いと思う。 ○漁業の見学に行きたいという小学生からの声を聴いたことがあるので、体験型の取組みは需要があると思う。 ○秋田市の小さい子どもたちのグループがあり、収穫体験の受け入れを行っている。潟上市でも希望があれば受け入れ可能。 (2) 食育関係事業について ①取組み状況の報告 ○委員から、資料2の基本方針（3）「地域の食文化・地場産物をいかした食育の推進」の教育総務課総務学事班の、「十分な成果があった」と表記している部分について、「統一献立を実施したから達成できたのか、それとも実施したことによって何かの波及効果があったということなのか」という質問があり、担当課へ確認し、後日、報告することとしました。 ②今後の取組みについて（参考資料1・2） ○食育イベントで、ジュースなどに含まれる砂糖の含有量の展示もいいのではないかな。 ○学校や保育園等の行事食の時は、食生活改善推進協議会を利用して欲しい。 ○子ども食堂を活用し、食育を推進することができるのではないかな。 ○収穫体験などの体験型の取組みをすることで、中学生ぐらいまでは食育に興味をもってもらえるのではないかな。

	○食品ロスの啓発として、一般社団法人あきた地球環境会議の協力のもと出前講座を実施することができる。 ○目標値を達成するために施策へ反映し、事業化していければよい。 ○事務局では、皆さんの意見を関係部署にお知らせし、今後の事業に生かせるよう働きかける。
9．その他	